

よみがえる安達峰一郎

——世界が称賛した国際人に学ぶ——



ポーツマス会議では日本の国益を代表する外交官として交渉に臨み、国際連盟の総会では日本代表を務め、国際連盟のさまざまな会議では議長などの要職を担い、さらに常設国際司法裁判所ではアジア人初の所長として正義の実現を目指した、安達峰一郎。

生誕150年を迎える本年6月、その実像と意義を明らかにする記念シンポジウムを開催いたします。国内外に散在していた重要な著述・講演を一冊にまとめた初の著作選刊行(5月刊行予定)を踏まえ、国際協調にもとづく平和を希求した安達峰一郎の思想と行動を読み解き、混迷する国際平和への示唆を浮き彫りにします。

2019年6月15日(土)

13:30~16:30 (開場13:00)

会場: スクワール麹町 3階「錦華の間」

<http://www.square.or.jp/>

▶ JR四ツ谷駅麹町口を出て正面

▶ 東京メトロ丸の内線・南北線四ツ谷駅より徒歩1分

【参加費無料・要申込み】

満席の場合はお断りすることもございますので、ご了承ください。
(申込締切:5月末日)

申込み/問合せ先

FAX・E-mailのいずれかで、氏名・住所(所属)・連絡先(電話またはE-mail)を明記のうえ、お申し込み下さい(FAXでお申込みの方は、裏面の申込用紙をご利用下さい)。

▶ 安達峰一郎記念財団

<http://m-adachi.or.jp/>

FAX: 03-3341-5063 TEL: 03-3341-5036

E-mail: m.adachi@k9.dion.ne.jp

【主催】 公益財団法人 安達峰一郎記念財団

【協力】 一般財団法人 東京大学出版会

プログラム

総合司会: 植木俊哉 (東北大学教授)

1) 主催者挨拶

鈴木正貢 (公益財団法人安達峰一郎記念財団 理事長)

2) 来賓挨拶

秋葉剛男 (外務事務次官)(予定)

3) 基調講演

柳原正治 (放送大学教授)

「安達峰一郎の思想と行動——著作選を通して」

4) 個別報告

北川忠明 (山形大学教授)

「外交史の観点からみた安達峰一郎」

李 禎之 (岡山大学教授)

「国際裁判と安達峰一郎」

井上卓弥 (毎日新聞学芸部編集委員)

「戦間期の国際情勢と安達峰一郎」

5) パネル討論

「国際社会の混迷と国際法の役割

——安達峰一郎の思想と行動の意義」

司会: 植木俊哉

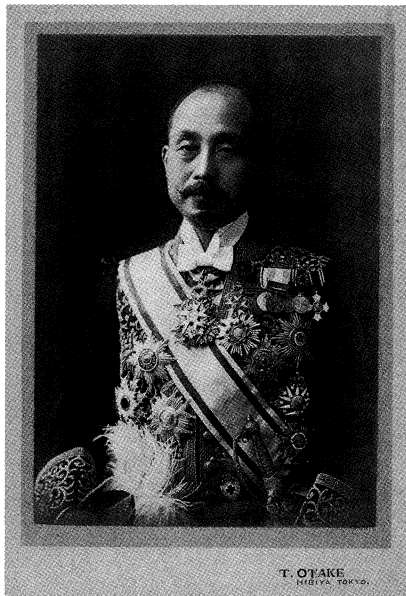
パネリスト: 明石欽司 (九州大学教授)、三牧聖子 (高崎経済大学准教授)、

丸山政己 (山形大学准教授)、柳原正治、井上卓弥

6) まとめ 植木俊哉

安達峰一郎の略歴

- 1869年 現在の山形県山辺町に生まれる
1882年 山形師範学校中等部入学
1892年 帝国大学法科大学法律学科卒業
外務省入省
1905年 日露講和ポーツマス会議に出席
1913年 特命全権公使メキシコ駐在を拝命
1917年 特命全権公使ベルギー駐在を拝命
1921年 同大使を拝命
国際連盟総会に日本代表として出席(～1929年まで)
1925年 帝国学士院会員
1927年 特命全権大使フランス駐在を拝命
1930年 常設国際司法裁判所判事に選ばれる
1931年 常設国際司法裁判所長に選ばれる
1934年 アムステルダムにて永眠
1935年 オランダ国・常設国際司法裁判所合同葬



【安達峰一郎 生誕150年記念】 出版物のご案内

安達峰一郎 [著] 柳原正治 [編]

萬邦の平和を期して (仮) 安達峰一郎著作選

2019年5月刊 A5判/520頁 価格未定

世界を舞台に華々しく活躍した国際人・安達峰一郎の著作集。学術論文や随筆に加え、外交官時代の調書や報告書、捕獲審検所評定官としての調査書や判決、国際連盟総会・理事会参加時の報告書、常設国際司法裁判所判事・所長としての報告書や反対意見さらには重要な書簡なども併せて、安達峰一郎生誕150年記念事業として、一冊に纏め著作集として刊行する。

また、個々の資料を的確に位置づける解説を付すことにより、読者の理解を促す便宜を図る。

【主要目次】

第1章 法学・国際法学の研究

第2章 外務官僚・外交官

1. 駐伊臨時代理公使/2. アジアの諸地域を含む植民地をめぐる状況/3. ポーツマス会議/4. 横須賀捕獲審検所評定官/5. ロシア接伴報告書/6. メキシコ革命/7. ベルギー国の状況/8. フランス国の状況

第3章 国際連盟と世界情勢

1. パリ講和会議/2. 国際連盟での報告/3. 戦争損害賠償/4. ジュネーブ議定書/5. 万国国際法学会/6. 戦争違法化への流れ/7. 大戦後の外交と国際連盟の役割

第4章 常設国際司法裁判所(PCIJ)

1. PCIJの創設/2. PCIJへの期待/3. PCIJ裁判官選挙/4. PCIJ所長として/5. PCIJ判決への反対意見/6. 満州事変/7. 日本連盟脱退とPCIJ/8. PCIJ改革

第5章 随筆・小論など

第6章 解説 (柳原正治・三牧聖子)



[シンポジウム申込用紙] FAX▶ 03-3341-5063

ふりがな 氏名 電話
..... メール

住所 (所属)

ふりがな 氏名 電話
..... メール

住所 (所属)

ふりがな 氏名 電話
..... メール

住所 (所属)